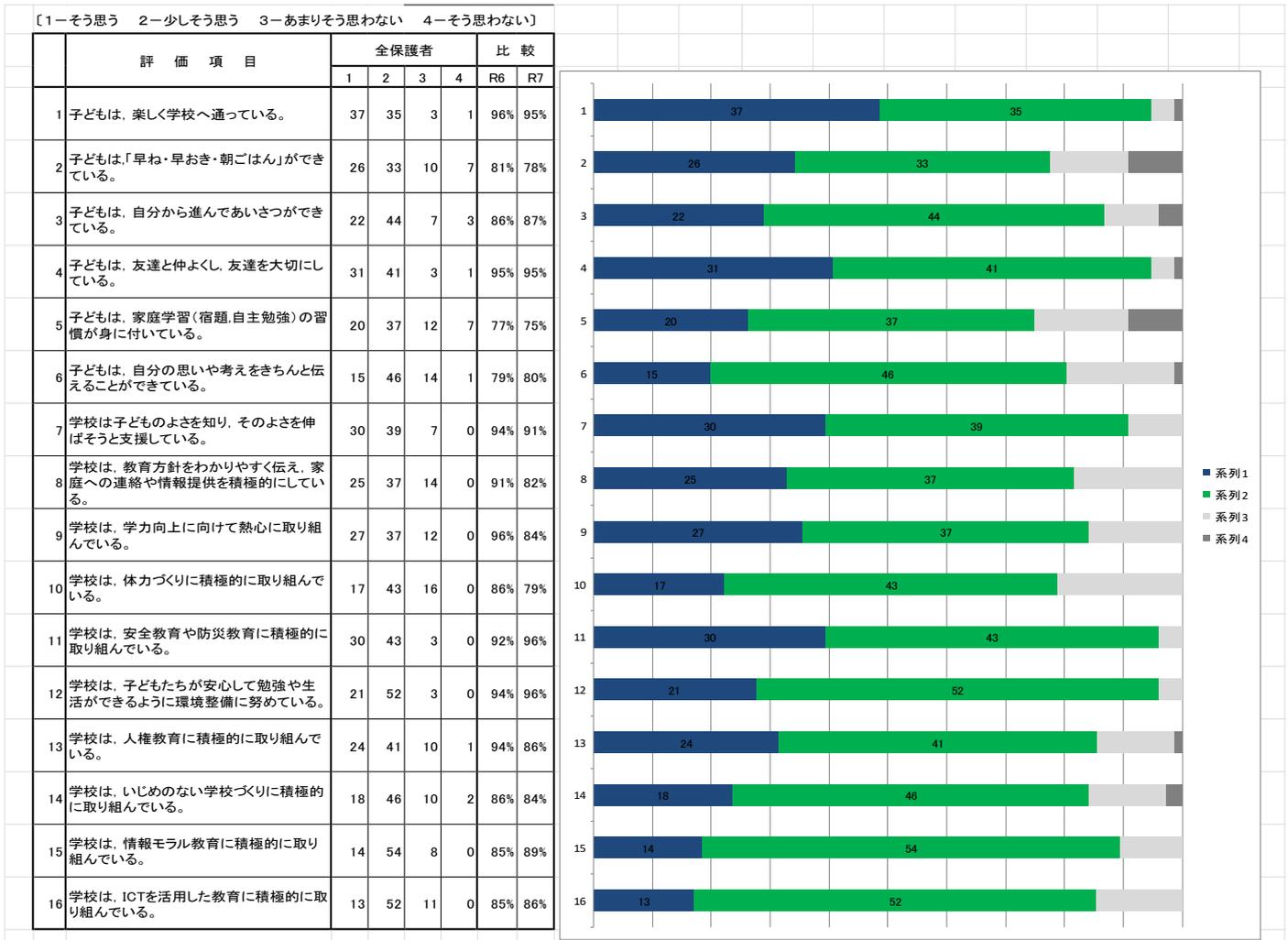


令和7年度学校評価アンケート結果について（横見小学校）

I アンケートの集計結果

◇保護者

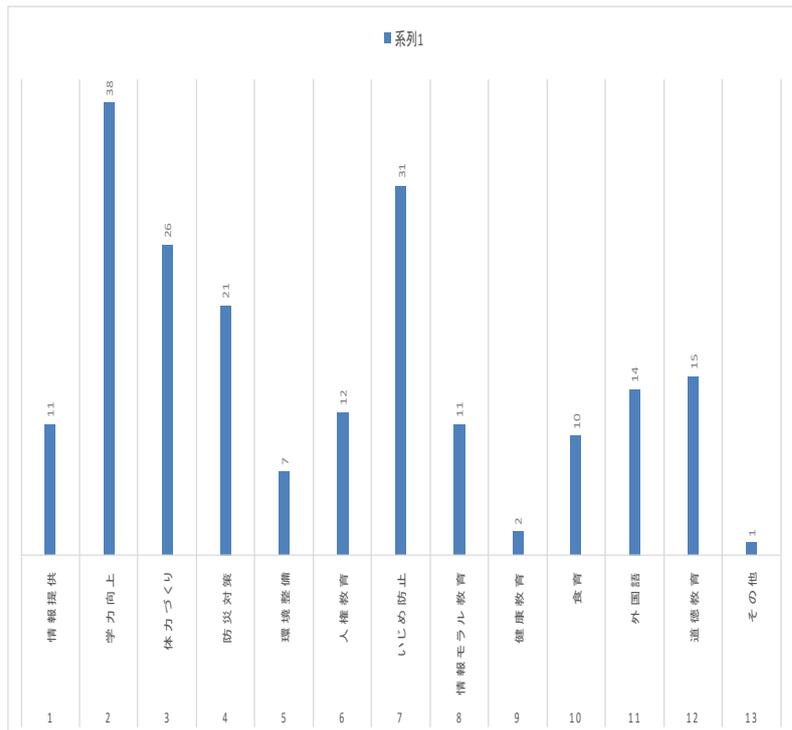
回収率 90.48% (76/84)



来年度特に力を入れてほしいこと

項目	割合
1 情報提供	11 6%
2 学力向上	38 19%
3 体力づくり	26 13%
4 防災対策	21 11%
5 環境整備	7 4%
6 人権教育	12 6%
7 いじめ防止	31 16%
8 情報モラル教育	11 6%
9 健康教育	2 1%
10 食育	10 5%
11 外国語	14 7%
12 道徳教育	15 8%
13 その他	1 1%
合計	199

その他(時代に合わせたルール)



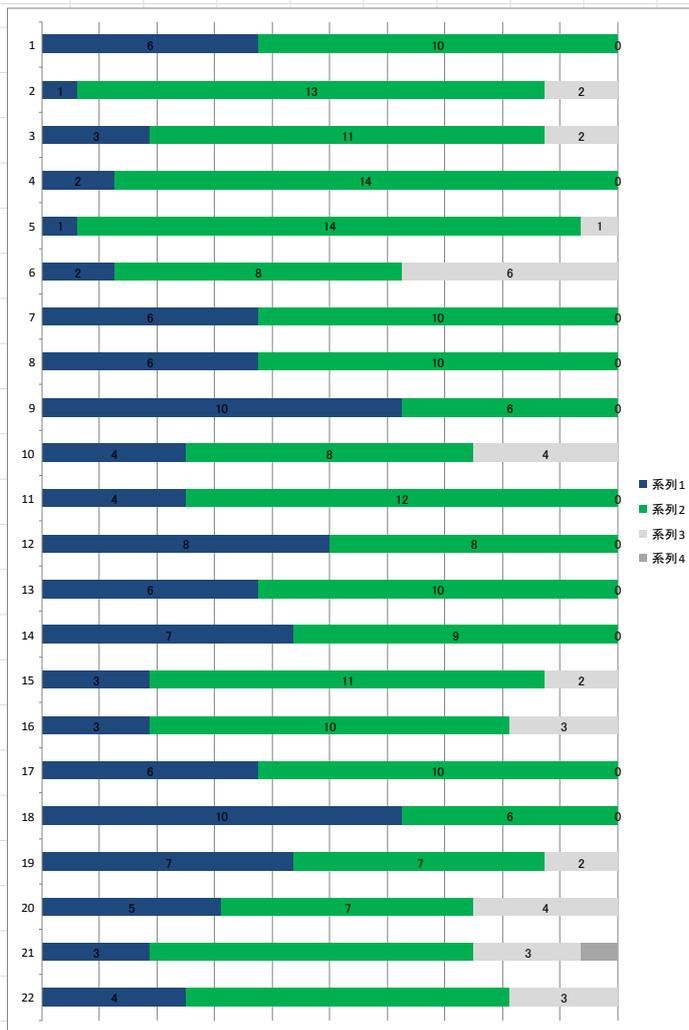
◇教職員

2025年度 学校評価に関するアンケート結果 (教職員)

[1-そう思う 2-少しそう思う 3-あまりそう思わない 4-そう思わない]

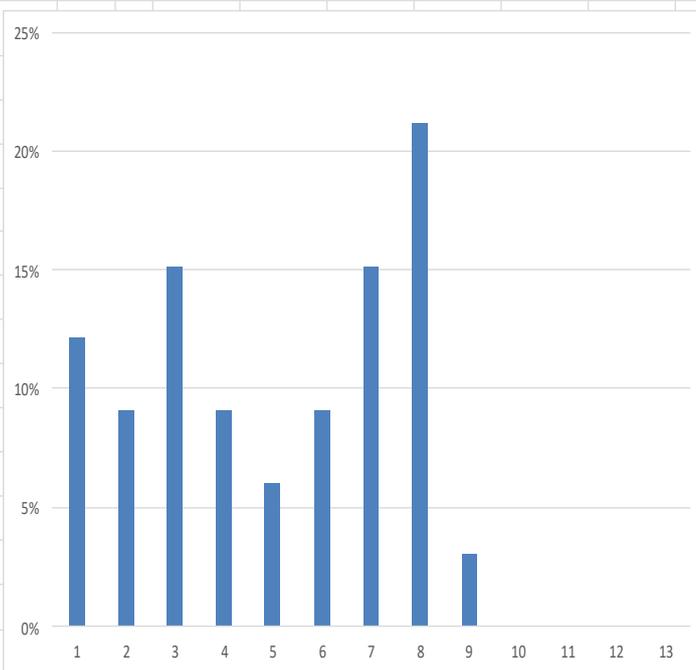
集計数 16

評価項目	教職員				比較	
	1	2	3	4	R6	R7
1 児童は、楽しく学校生活が送れている。	6	10	0	0	100%	100%
2 児童は、「早ね・早おき・朝ごはん」ができています。	1	13	2	0	47%	88%
3 児童は、自分から進んであいさつができています。	3	11	2	0	73%	88%
4 児童は、友達と仲よくし、友達を大切にしている。	2	14	0	0	100%	100%
5 児童は、家庭学習(宿題、自主勉強等)の習慣が身に付いている。	1	14	1	0	80%	94%
6 児童は、自分の思いや考えをきちんと伝えることができています。	2	8	6	0	67%	63%
7 学校は、子どものよさを知り、そのよさを伸ばそうと支援している。	6	10	0	0	100%	100%
8 学校は、教育方針をわかりやすく伝え、家庭への連絡や情報提供を積極的に行っている。	6	10	0	0	87%	100%
9 学校は、学力向上に向けて熱心に取り組んでいる。	10	6	0	0	100%	100%
10 学校は、体力づくりに積極的に取り組んでいる。	4	8	4	0	87%	75%
11 学校は、交通安全や防災教育に積極的に取り組んでいる。	4	12	0	0	100%	100%
12 学校は、子どもたちが安心して勉強や生活ができるように環境整備に努めている。	8	8	0	0	100%	100%
13 学校は、人権教育に積極的に取り組んでいる。	6	10	0	0	93%	100%
14 学校は、いじめのない学校づくりに積極的に取り組んでいる。	7	9	0	0	100%	100%
15 学校は、情報モラル教育に積極的に取り組んでいる。	3	11	2	0	87%	88%
16 学校は、IoTを活用した教育に積極的に取り組んでいる。	3	10	3	0	87%	81%
17 「命と人権を大切に、たくましく生きる児童」を育てている。	6	10	0	0	100%	100%
18 児童理解に努め、児童一人一人を大切にしている。	10	6	0	0	100%	100%
19 「報・連・相」を大切に、情報共有に努めている。	7	7	2	0	73%	88%
20 教職員で協力し合い、風通しのよい職場づくりに取り組んでいる。	5	7	4	0	80%	75%
21 優先順位を付けて業務に取り組み、時間外在校等時間を減らすよう努めている。	3	9	3	1	67%	75%
22 情報教育によって指導環境が向上したと考える。	4	9	3	0	73%	81%

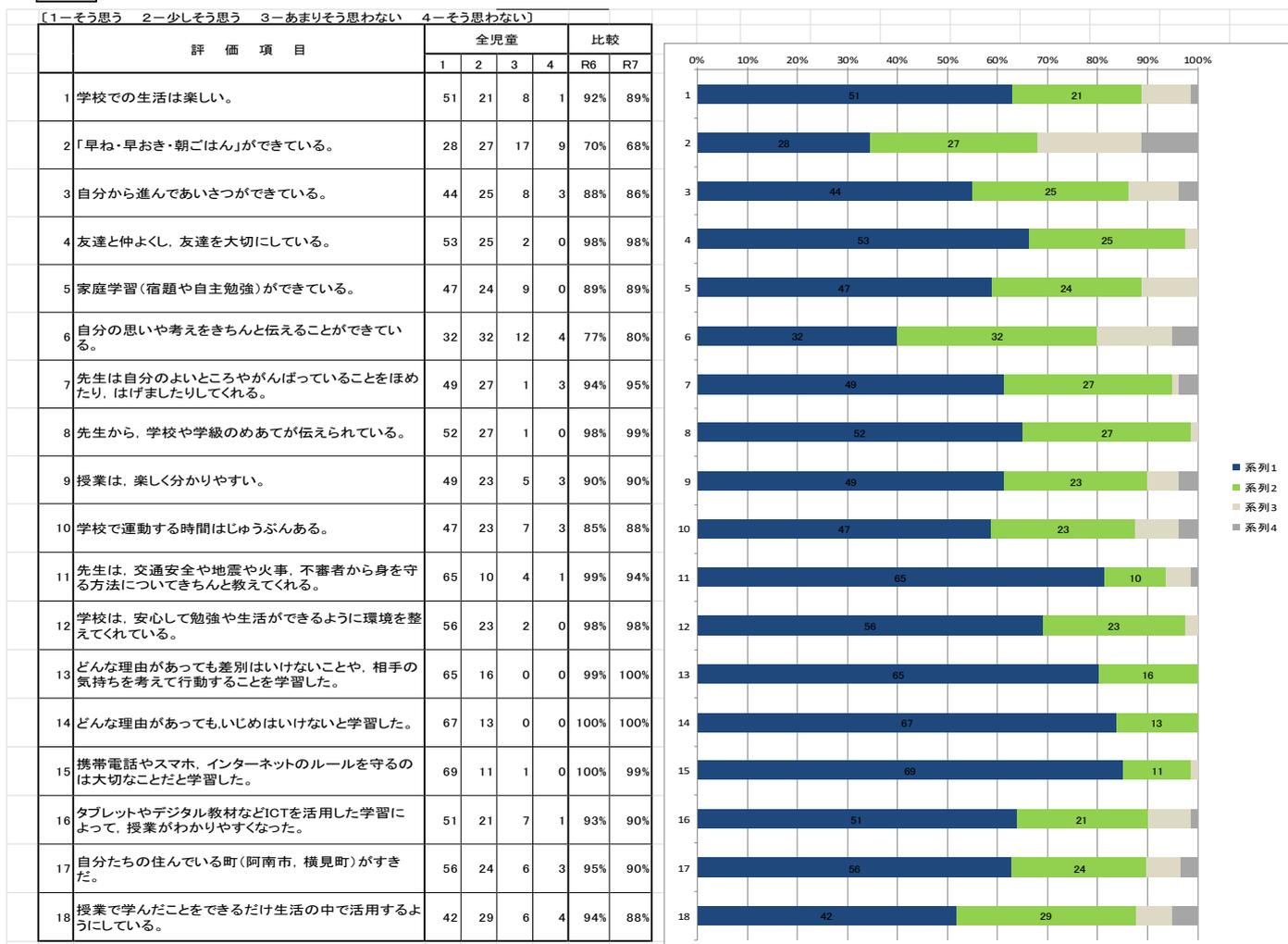


来年度力を入れるべきこと

項目	割合	数
1 情報提供	12%	4
2 学力向上	9%	3
3 体力づくり	15%	5
4 防災対策	9%	3
5 環境整備	6%	2
6 人権教育	9%	3
7 いじめ防止	15%	5
8 情報モラル教育	21%	7
9 健康教育	3%	1
10 食育	0%	0
11 外国語	0%	0
12 道徳教育	0%	0
13 その他(図書館教育)	0%	0
合計		33



◇児童



項目	比較	
	R6	R7
1 子どもは、楽しく学校へ通っている。	保護者 96%	児童 92%
2 子どもは、「早ね・早おき・朝ごはん」ができています。	保護者 81%	児童 70%
3 子どもは、自分から進んであいさつができています。	保護者 86%	児童 88%
4 子どもは、友達と仲よくし、友達を大切にしている。	保護者 95%	児童 98%
5 子どもは、家庭学習(宿題、自主勉強)の習慣が身に付いている。	保護者 77%	児童 89%
6 子どもは、自分の思いや考えをきちんと伝えることができています。	保護者 79%	児童 77%
7 学校は子どものよさを知り、そのよさを伸ばそうと支援している。	保護者 94%	児童 94%
8 学校は、教育方針をわかりやすく伝え、家庭への連絡や情報提供を積極的にしている。	保護者 91%	児童 98%
9 学校は、学力向上に向けて熱心に取り組んでいる。	保護者 96%	児童 90%
10 学校は、体力づくりに積極的に取り組んでいる。	保護者 86%	児童 85%
11 学校は、安全教育や防災教育に積極的に取り組んでいる。	保護者 92%	児童 99%
12 学校は、子どもたちが安心して勉強や生活ができるように環境整備に努めている。	保護者 94%	児童 98%
13 学校は、人権教育に積極的に取り組んでいる。	保護者 94%	児童 99%
14 学校は、いじめのない学校づくりに積極的に取り組んでいる。	保護者 86%	児童 100%
15 学校は、情報モラル教育に積極的に取り組んでいる。	保護者 85%	児童 100%
16 学校は、ICTを活用した教育に積極的に取り組んでいる。	保護者 85%	児童 93%

Ⅱ 考察と集計結果を踏まえての今後の取組について

◇児童の様子に関すること（1～6, 17, 18）

4「友達と仲よく」については、児童・保護者とも9割以上の肯定的な回答が得られているが、2「早ね・早おき・朝ごはん」、6「自分の思いを伝える」については、保護者・児童ともに十分でないと感じていることが分かる。5「家庭学習」については、肯定的な回答が児童（89%）と保護者（75%）で差が見られた。

- ① 「早ね・早起き・朝ごはん」の大切さに気づけるよう呼びかける方法を工夫し、その大切さを伝えるとともに、基本的な生活習慣が身に付くよう家庭と協力しながら継続した取組を行っていく。
- ② 自分の思いや考えが伝えられるよう、朝の会での1分間スピーチや授業でペア学習やグループ学習を取り入れるなど、児童が発表する機会を多くし、伝える力を育てていく。縦割り班活動や学年間の交流を継続し、仲間づくりを行い、安心して自分を表現できる雰囲気づくりを行う。
- ③ 家庭学習の習慣が身に付くように、「家庭学習の手引き」を十分活用したり、自主勉強のやり方を伝えたりし、継続的に取り組めるよう声かけを行う。よく頑張っている児童を賞賛し、家庭学習への取り組む意欲を高めていけるようにする。

◇教育活動に関すること（7～16）

7「学校は子どものよさを伸ばそうと支援」、11「安全教育・防災教育への取組」、12「環境整備」については児童・保護者ともに9割以上肯定的な回答が見られた。一方、「学力向上」については、2年間、市の学力向上研究指定校となり、校内で取り組んでもかかわらずマイナス評価になってしまったのは残念である。8「連絡や情報提供」、13「人権教育」（児童100%）、14「いじめのない学校づくり」（児童100%）については、児童と保護者の回答に差が見られ、「十分でない」と感じている保護者が児童よりも多くいることが分かる。

- ① 学力向上については、2年間の指定研究で培ってきた手法を生かし、成果を上げられるよう取組を継続していく。「読むこと」「書くこと」「計算」の反復練習を大切にし、基礎・基本の定着を図る。また、児童が安心して学ぶことができる学級づくりや異学年交流を通じた人間関係づくりに取り組む。そうした環境づくりとともに、課題意識をもった校内研修の充実を図り、教職員のスキルアップを図っていく。
- ② 学校の教育目標や教育活動等を機会あるごとに伝えるとともに学校だより、ホームページ等で発信する。配布文書で可能なものは、マチコミ等の添付ファイルを活用し、閲覧機会を増やすようにする。また、保護者が安心できるように電話連絡や連絡帳を通じて児童の様子を丁寧に伝えていく。
- ③ 「人権教育」については、教育目標にも掲げているように本校教育の大きな柱の一つである。そこで、今後も全ての学年で年間指導計画に添って学習を進めていくとともに、参観授業を行ったり、保護者と一緒に学べる機会を設けたりするなどして、継続的に指導していく。
- ④ 「いじめのない学校づくり」については、定期的なアンケート調査だけでなく、日々の児童の様子をしっかり観察したり、職員間での情報共有を行ったりすることで、早期発見・早期対応に努める。また、道徳の授業や人権学習を通して、いじめや差別を許さない心や態度を育てていく。

◇学校経営に関すること

7「子どものよさを伸ばそうと支援」、9「学力向上」、11「安全教育・防災教育への取組」、14「いじめのない学校づくり」、17「命と人権のを大切にする児童の育成」、18「児童理解」については、全教職員から肯定的な回答が得られている。しかし、10「体力づくり」で12ポイント下がり、16「ICTを活用した教育」で6ポイント、20「風通しのよい職場づくり」で5ポイントマイナスとなっている。2年間、学力向上に重きを置いてきたというところがあるので、来年度は、子どもたちの体力向上についてももっと目を向けるようにし、体力づくりにつながる取組を行っていききたい。ICTの活用については、校内での研修や教え合う機会を増やし、個々のスキル向上を図っていくようにする。また、風通しのよい職場環境にするために、管理職と教職員、職員同士で気軽に相談できる雰囲気づくりに取り組まなければならないと考えている。

- ① 体を動かすのが好きな児童と苦手な児童の二極化傾向が見られるため、体育主任とも相談し、学年でできること、学校全体でできること等を考え取り組んでいく。また、今年度も行っていたように朝の活動や集会等の時間を活用し、楽しみながら児童が体を動かす機会をつくっていくようにする。
- ② デジタル教科書やタブレット端末などICTについて、校内研修を設けたり、ICT支援員の来校日に質問事項をまとめ教えてもらったりし、ICTの活用促進を図っていく。また、常にOJTを意識し、互いに尋ね合いや教え合いができる環境づくりをする。
- ③ どんな小さなことでも周りの職員に伝えるとともに、互いに声をかけ合う風土をつくっていく。困りごとや悩みごととはひとりで抱え込まないよう常に声かけし、組織的な対応ができるよう共通理解を図る。